

☆ 近日 日 發 賣 ☆

臺灣總督府
及所屬官署

職員錄

十六年版

定價 金壹圓五拾錢 送料二十錢

- 一、全島各官廳、地方官署、市街庄
- 一、總督府各官署の代表電話番號
- 一、官 署 系 統 表

臺灣總督府内

臺灣時報發行所

振替口座臺灣二〇七〇番

目 次

(號日五十月一十)

支那事變の現段階……………情報部…一	部報同覽板……………三
テマと國民の教養……………黒澤平八郎…六	——新嘗祭——御勅題——燃える志願
盟邦の銃後戦線……………編輯部…八	兵熱——模範部落決定——
比律賓の華僑……………金子豊治…三	皇民講座(志願兵)……………中美春治…八
	國債報國……………
	表紙……………勸勞奉仕

支那事變の現段階

英米極東の第一陣—重慶潰滅—

東條新内閣の電撃的成立に、米國も亦國も脅へ切つてゐるが、それにも

東條新内閣の電撃的成立に、米國も亦國も脅へ切つてゐるが、それにも

蘇聯極東の移動、米國援蔣活動の實質的減退及これに伴ふ反蔣分子(共産黨をも含む)の擡頭、南京新政府の發展等、迫り來る内外の

悲觀的狀勢の中に喘ぎつゝあつた所へ、更に東條首相の明敏果斷、よく時艱突破に當り得る才能と性格とを、見事な電撃的組閣と大國策貫遂の力強い聲明とで目のあたり見せつけられたからである。

新内閣が支那事變の解決と東亞共榮圈の確立とを力強く推進し、之を妨害する英米の策動を斷乎として排

時局解説

時局解説

撃せんとする決意を明にした事は、重慶にとつて致命的な痛手であつた。何故なら重慶は今、自の力で戦つてゐるのではない。英米の援助によつて、言ひ換へれば英米の代理となり否犠牲となつて、その第一線を受け持つてゐるに過ぎないからである。即ち日本は永い間重慶と戦つてはゐるが、その實、日本は米國の大砲や英國の彈丸と戦つてゐるのである。

事變勃發以來、英米は日本の事變遂行を妨害して、自らの權益を保護する爲に重慶援助を續けて來たが、歐洲大戰開始以來、特に三國同盟締結前後から、その性質は著しく變つて來た。

米國は日本を支那事變に釘付けにして疲勞させる事によつて、日本の國力を低下させ、やがては日本を撃滅し英國に代つて東洋に臨まんとしてゐるのである。従つて日本を自滅させるには重慶軍に彈丸や飛行機を送つて長期戦を續けさせる、——即ち英米はその第一線部隊は重慶なりと考へてゐるのである。その反面、日本の必要とする物資は米國からも、英領土からも蘭印からも賣らせず——

對日經濟壓迫を行つてゐるのである。

換言すれば、英米は日本に對して表門からは重慶軍によつて武力抗戦を行はせ、裏門からはABC集團によつて經濟壓迫を續けてゐるのである。

そこで此の對日包圍陣を何としてでも突破しなければならぬ譯である。

然し對日包圍陣と云つても目に見えて戦を交へてゐるのは支那軍だけである。そこで日本軍は重慶軍の抗戦組織をメチャクけに破壊して、重慶軍に統制ある抵抗の出來ない様にする事に力を注いでゐる。支那の重要地區は既に占領済み

であるから、土地の占領を企圖するよりも戦力を壊滅させる事が大切になつてくる。従て最近の長沙作戦、廣東西江作戦、福州作戦等に於ては、交通設備、通信施設、軍事施設等を根本から破壊し、食糧、彈藥等を奪取して、當分の方面で支那軍が統一ある戦をなし得ない様にして、原駐地に復歸し、他の作戦を準備すると云ふ戦法を用ひてゐるのである。勿論日本軍は、作戦上必要な土地は絶対に放棄するものではない。宜昌の占領、黄河作戦の鄭州占領の如きはこれである。

最近歐洲の戦況、特に獨ソの戦況進展が著しいの

時局解説

で、國民はみんなその方面に氣をとられて、支那事變の現況に狂瀾になつてゐるやうであるが、支那大陸に於ける作戦は、今尙頻繁に續けられ著々東亞和平の基石が布かれつゝあるのである。例へば七月のみの一箇月間の數字をあげて見ると

交戦回数 二千二百九十五回
交戦敵兵力 三十一萬六千
といふことになり、我軍の死傷 千三百餘に對し 敵遺棄屍體 一萬三千八百四十九

敵捕虜 五千百三十四

といふ大きな數字に上つてゐる。(敵の損害の中、負傷者及び搬出屍體を計算に入れると非常に大きい數になる)これによつても現地の將兵が如何に絶え間なく苦闘しつゝ活躍してゐるか、明かになるであらう。

現在の重慶はこの様にし、正面よりは我が武力攻撃を受け、背面ではビルマルートを遮断され、海上は我が海軍によつて沿岸の封鎖を受け、重慶に通ずる凡ゆる血管が断ち切れ、今や自滅への一路を辿るばかりで、全くヘトヘトの状態

その實力は、事變當初の五分の一乃至十分の一以下であるが、軍隊の補充は強制徴兵を行つてゐるので、完全崩壊には至つてゐない。

然し經濟の面から見る重慶及び内部紛争から見る重慶は、中央蔣軍の勢力衰退と共に漸次、全面的顛落に陥りつゝある。即ち我が全面的經濟封鎖の鐵環は、最近益々強化され、重慶へ流入する物資の完封、抗戦經濟力の低下に拍車つけてゐる爲、重慶の物價騰貴は物凄く、マツチ一箱五十錢、

タオル一打七十圓、ビール一本三十圓、石鹼二個二圓、米一斗八十四圓、小麦粉百斤六百五十圓と云ふ様な世

界一の高物價を示して居る爲に飢餓に喘ぐ住民一萬餘は遂に土匪化して正規軍の武力鎮壓を受けるに至つた事件さへ起してゐる。尙最近の如きは法幣の著しい低落と不信の爲、經濟的破綻に類し、重慶經濟上の據點である上海放棄説さへまでも擡頭するに至り、(十月下旬上海では軍票百圓に就き法幣四百圓)重慶香港での相次ぐABC經濟會議で之が對策を考究してゐる現狀である。

一方國民黨と共產黨との軋轢は、ルーズベルト大統領の特使オーエン・ラチモアが重慶に乗り込み、國共合作を策したお陰で(國內

時局解説

紛争の爲に米國よりの援助武器使用を禁ずる外、直接國共合作を目指し抗戦力の擴大を計つてゐる) どうやら一應の解決はついたものゝ如く見え、新四軍軍長葉挺をも釋放する模様であるが、これは十一月十二日より開催される九中全會への中共系の参加を條件とするものゝ如くである。然し、ラチモアの活躍功を奏し國共合作成ると重慶が囁り物入りで宣傳してゐる一方(事實中共としては、現在ソ聯の敗戦で援助が無い爲、弱氣にはなつてゐる)北支では先の中原會戰及び今次の河南進攻作戦で蔣系

中央軍の全面的抗戦力低下、敗退に乘じ、蔣軍の地盤を獲得すべく、我が軍の目をかすめつゝ、潜行運動を續けてゐる事實がある。斯の如きは中央(重慶)で合作して地方で蔣系の地盤を狙ふ中共独自の方法として注目される問題である。

抗戦力の統一強化を計る重慶は國共合作の外、貴州省修文に贛居中の張學良の自由を回復し、楊虎城、馬寅初等の幽閉をも解くと云ふ事であるが、これで内部崩壊を喰ひ止め得るとは考へられない。むしろ之等の反蔣分子は、やがて民衆の和平熱と打續く空爆による瓦礫の燒野原と、經濟的崩壊とに乘じて、内部崩壊を推進させるものとなるであらう事は、既に二三の萌芽

によつても考へられる所である。

然し乍ら重慶の抗戦は、その支柱である英米の全面的援助とABC包圍陣との破砕がなされない限り、止るところを知らないであらう。何故ならば、重慶が今はたゞ英米の爲に日本と戦ふ即ち英米の走狗であるからでありたゞ重なる軍事會談やマグルーダー代將を中心とする軍事顧問の活躍等がこれを物語つてゐる。茲に帝國の決意と準備と覺悟が固められねばならぬ所がある。

十一月十五日から五日間開催される第七十七臨時議會は、此の意味に於て重大なる意義を持つものである事は、

「國策遂行に關する政府の

確固たる決意を披瀝し、帝國議會を通じて國民の理解と協力を求め、舉國一致の實を擧げると同時に、時局下緊急を要する追加豫算案並に法律案の協賛を求めて緊迫せる國際情勢に對應すべき國內體制を整備する」と云ふ今議會の目的に照らしても明かな所である。

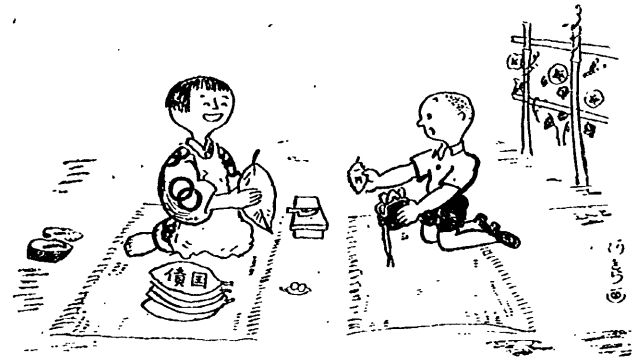
東郷外相は就任の際「帝國の生存に關し、又はその權威に關する場合は、毅然たる態度を以て之を擁護し、皇國の光輝ある歴史的使命を達成せねばならぬ」と全國民に訴へてゐるが、帝國は今、臨戦態勢の強化に發進して行くのみである勞働者も學生も、農民も商人も、男も女も、全國民が火のかたまりとなつて……

(十一月四日稿)

特輯 國債報國



新編・花咲爺 (牧新太郎)



ままごとも新體制 (南東明)
「お菓下ささい」
「お菓なんかやめて、國債を買ひなさい。ハイ、これ國債よ」



「國債の額とはすばらしいですね」
「あの額のふえるのが、わしの唯一のたのしみで、ハハハ……」
(稻井春夫)

デマと國民の教養

流言蜚語を撃破 國家を防衛せよ

近代戦は總力戦でありま
す。従つて人が要る、金が
要る、物が要る
といふ風に凡ゆる
るものが要る。
その合計數字の
大なるものが小
なるものより勝
つといふことに
は、誰れも異存
のないところあ
ります。ところが
が現實の歴史は
この計算とは大

分違つた答へを出して居り
ます。つまり一國一民族の
精神力といふものが、最後
の決を與へるものであると
いふことを、この際特に強
調したいと思ふのでありま
す。

又は戰闘行爲がはかばかし
く進捗しなかつたり、國際
情勢の緊迫化に伴つて不安
が生じたり、といふ様な折
にはいろくの揣摩臆測が
流布されて、心なき國民の
中には冷静を失つて流言蜚
語を飛ばす者が出て來るの
であります。

去る六月二十一日から二
十二日にかけての夜半、ヒ
ットラーの命令一下、五百
萬の獨逸軍、雪崩を打つて
ソ聯領に乘込んだと聞いた
時のモスクワは何うであつ
たでせう。到る所に流言蜚
語は飛び、モスクワ市民は
敗戦必死の感想に捉はれる
者多く、又食糧の買溜、貯
金の引出しに殺到し、食糧
品は不足し、市民の動搖混
亂實に名状すべからざるも
のがあつたのであります。

國際情勢の緊迫

戰爭とデマは附きもので
であると思はれます。或は
敵の謀略宣傳に乗つたり、

し、されど軍人は固より統
後の國民共に最後の一人に
至る迄、祖國フィンランド
の爲に戦ひ抜き、從容とし
て死すべき決意である、斯
ゝるが故に氣分は極めて樂
であつて、何等の苦痛なし
と答へて、之を確實に實行
したのであります。

國運の進展に貢獻したこと
は、今更喋々するまでもな
いのでありまして、現に支
那事變に於きまして、幾多
の實例が現はれて居るので
あります。然し乍ら今回の
支那事變の間に於きまして
も、上海戦の進捗しなかつ
た時や、徐州作戦直前蒙兒
莊附近の戰闘に於て、或は
又、ノモンハン附近の戰闘
に於て、一時我軍が悪戰苦
闘に陥つたときの流言蜚語
は、尙我々の記憶に生々し
いものがあるのであります。
之等に就て靜かに反省
考察をいたしますとき、將
來の戰爭に處する爲には、
我が國民の精神的教養にも
尙飛躍的向上を要するもの

ありと思はれるのでありま
す。政府當局は目下極めて
用意周到なる方法を以て前
進して居るのであります。
國際情勢の動きにつれて、
いろく揣摩臆測がデマと
なつて流行して居る様であ
りますが、一切を政府當局
者に任せて、職域奉公に
只管邁進していただきたい
と存じます。

情報部事務官

黒澤平八郎

私は茲に近世の偉觀として
推奨したいものがあるので
あります。それはソ聯フィ
ンランド戦に於けるフィン
ランド國民であり、その意
氣であります。北歐の一小
國フィンランドはソ聯軍の
三次に互る大攻勢を極めて
鮮かに阻止し、克く困難を
突破し國威を宣揚したので
あります。ソ聯の執拗なる
宣傳の如きには誰一人とし
て之を信じ迷ふ者がない。
「我等はソ聯の宣傳に乗せ
らるゝが如き教養低き國民
に非ず」との矜持と信念を
有して居たのであります。
フィンランド國民に戰爭の
見透し如何と質すや、彼等
は齊しく「必勝の自信はな

し、されど軍人は固より統
後の國民共に最後の一人に
至る迄、祖國フィンランド
の爲に戦ひ抜き、從容とし
て死すべき決意である、斯
ゝるが故に氣分は極めて樂
であつて、何等の苦痛なし
と答へて、之を確實に實行
したのであります。

國運の進展に貢獻したこと
は、今更喋々するまでもな
いのでありまして、現に支
那事變に於きまして、幾多
の實例が現はれて居るので
あります。然し乍ら今回の
支那事變の間に於きまして
も、上海戦の進捗しなかつ
た時や、徐州作戦直前蒙兒
莊附近の戰闘に於て、或は
又、ノモンハン附近の戰闘
に於て、一時我軍が悪戰苦
闘に陥つたときの流言蜚語
は、尙我々の記憶に生々し
いものがあるのであります。
之等に就て靜かに反省
考察をいたしますとき、將
來の戰爭に處する爲には、
我が國民の精神的教養にも
尙飛躍的向上を要するもの

ありと思はれるのでありま
す。政府當局は目下極めて
用意周到なる方法を以て前
進して居るのであります。
國際情勢の動きにつれて、
いろく揣摩臆測がデマと
なつて流行して居る様であ
りますが、一切を政府當局
者に任せて、職域奉公に
只管邁進していただきたい
と存じます。



世界の勢がますます複雑化するにつれて、今や支那事變の始末は、ただ東洋だけでは解決がつかぬかも知れず、時局はますます重大になつて参りました。この秋、わが南進の第一線にあるわれわれ臺灣島民はいよいよ覺悟をかたくし、何時いかなることがあ

らうとも、これにおどろかず、またおそれないだけの力強い決心と、又これをきつぱりとねつけてしまふだけの勇氣を持たねばなりません。そのためには奉公班の力はたつきをますますさかんにし、六百萬島民が心と心をつかり一つにあはせ、互に助けあひはげましあひ、一人のなまける者もないやうに、臣民としての役目を果たし、臺灣の護りをかたくせねばなりません。

この奉公班のたのしい集ひ、毎月一日の夜開かれる常會。やうやく産聲をあげたばかりにはありますが、あらゆる困難を乗り越え、涙ぐましいや

うな努力がつづけられてあります。先づ島都臺北市の、主として本島人の人々を中心にした萬華の常會の有様をありのままに報告させよう。

常會で國民禮法の誓古

こゝ新起町三丁目。祖師廟脇の内外皮革商黃氏の店では、新起町區第三十班の第一回常會が開かれてゐます。このあたりは商店が主で、本屋、藤椅子屋、お菓子の屋、洗濯屋といろくなく

奉公運動の推進力

翼賛する常會

も、これから皇民としての輝かしい第一歩をふみ出すのだと、あふるゝばかりの熱にもえてゐます。

廟庭で開かれた合同常會

有明町の劉公廟の廟庭では有明町區第五組の分區の合同常會が開かれてゐます。會員三百二十名、出席は二百九十四名で缺席は三十六名です。ほの暗い廟庭は、おちいさんも主婦も青年も、一戸から一人宛と云ふので、所せましとはかり、ぎつしりと會員が詰めかけられてゐます。これが二度目の集りで、まだ作法のわから

誓の言葉

- 一、さゝやかな此の集ひ乍ら必ず御國の礎として大きな役目を果たします。
- 二、此の集ひに於て私を去つて語り合ひたゞ一すじに御國に盡す覺悟を固めます。
- 三、此の國に生れた喜びを新にし一丸となつて大御心にこたへ奉らんことを誓ひます。

ない老人など帽子をかぶつたまゝですが、會をかさねるにしたがつてよくなつて行くことと思ひます。この地域はあらゆる職業の、そして團隊訓練などあまり受けたことのない人が多いので、世話役の選定もなかなか

か困難なので、先づはじめのうちにはかうして合同常會を開いて、少しづつ指導した上で、各奉公班ごとに開くやうにしたいとのことで、少し人が多すぎるので隅の方にまでは話がゆきとどかず、さゝやきなども聞

んの姿も見えます。長椅子にすはつてゐます。中央には常會の次第を書いた紙がはられ、又、誓の詞もかけられてゐます。世話役の黃さんの開會の挨拶がすむと、もと國民學校の先生をししをられた蘇さんが立ち上り、中央で國民禮法の説明です。一々自分で手本を示しながら親切に教へてゐます。はじめての常會としてはまことにものともなことで、かう云ふ小さなことから一つ一つを指導し、立派な常會へと導くのです。六十あまりの老人までが、最敬礼の稽古です。真剣に、そしてつゝまじやかに、たとへ國語はわからなくて

えます。しかし一般にみな熱心に耳をかたむけてゐます。

空襲の脅威と題した辯護

士の周延壽さんのお話、陳本慶さんの防空動作と題した講話、その他傳達事項として下水の泥を始末して綺麗にしたり、傳染病のバイキンのすみかになるごみ箱の掃除をするやうに話し、

今最後の協議事項に移り、黄海瑞さんが座長席につき防空訓練、神社参拜、タオルの配給等について相談をすゝめてゐます。殊に防空訓練については、兵隊さんは命がけで戦地で働いていらつしやる。私共銃後の者は一人のなまける者もない

やうにしつかり空の護りをかためよつと、みなが非常に熱心です。

常會で納税 報國の申合

龍山寺の前殿では、龍山寺町第三分區の奉公班常會が開かれてゐます。中央に日の丸の國旗をかかげ、その兩脇には白地に黒で國威宣揚、新武運長久と大きく染抜いたのぼりが二本立てゝあります。こゝでは第三分區長の陳炳焯さんを中心

こゝでは市からの通達事項の外に、特に納税報國についてみなで申し合せをしたさうです。もう相談が終つて、丁度ネル、晒、タオルの配給の抽籤をしてゐるところでした。こゝも同じやうに老若男女あらゆる人があつまり、中には纏足したおばあさんの姿さへ見えま

常會には出席しませう

同じ龍山寺の會議室では、龍山寺町第四區の常會です。大分おそくなつたので、もう散會した後で、分區長の廣田英俊さんと副分區長の高田さんが残務整理をしてゐるところでした。廣田さんは今壽國民學校で開かれてゐる皇民奉公會本部の青年訓練所の講習會に出席し、六十日間、毎晩七時から九時までにはげしい訓練を受け、それがすむとすぐにかつて来たところださうです。熱心な廣田さんは、今晚の常會に先だつ

て、百六戸の班員に次の様な通知を廻覧にしたさうです。

お願い (見タラ印ヲオシテ下サイ)

明一日午後七時三十分カラ龍山寺デ吾區ノ樂シイ常會ガアリマスコトハ、既ニ區長サンカラオ知ラセガアリマシタカラ、オワカリノコトト思ヒマスガ、各家庭ハ家長ト主婦(都合ノツルイ時ハドチラカ一人)ハ必ズ出席スルヤウ、オ誘ヒ下サルヤウ特ニオ手配願ヒマス。尙會場ノ設備ノ都合ガアリマスカラ、各世話役ノオ方ダケ五時ニ同寺會議室ヘオ忙シイト思ヒマスガ、オ集リヲ願ヒマス。イロ／＼ゴ面倒ナコトヲ願ヒスルヤウデスガ、コレモ皇民奉公ハ正シイ常會カラト思ツテ、御盡力下サイマ

ス様オ願致シマス。 當日晒トネルノ配給購入券ノ抽籤ガアリマスカラ、缺席者ハ資格ヲ失ヒマスカラ、左様オ含ミ下サイ。

第四分區長

しかし、出席者は僅かに五十名あまりで、成績はよい方とは云へず、どうすれば全部が集るやうになるだらうかと、頭をなやましてゐました。かう云ふ集りは一部の人がどんなに熱心でも、中に一人でもどうでもよいと云ふ人がゐたのでは何にもなりません。これからは、自分から進んで何でもやる。人にめいわくをかけるない様にせねばなりません。常會が開かれる様になつてまだ日が浅いために、中には國語のわからない人や字の讀めない人がゐて、よく通知が行きわたらなかつたのかも知れません。しかしかう云ふ時には、知つ

てゐる人は、自分だけではなく、隣近所、わからない人にはよく教へて上げて、皆誘ひあはせて常會に出席する様にしませう。自分たちの班は自分たちで立派にするのです。そのためにはみな心が一つになることが大切で、そのため第四區では、ネルと晒の配給の抽籤がとうとう今晚は出来なくなつてしまつたさうです。それで廣田さんも高田さんも、そのことを非常に残念がり、これではいけない。これから先づ常會に一人残らず出席する様に指導せねばならぬ、それにはどうすればよいかを色々と相談してゐ

ました。これからは世話役の人が責任を持つて、自分の組の人をまとめ、それから出席する様にしてはどうでせうか。

臺灣は南進の第一線だ

この時龍山寺町區の區長李根生さんが来られました。區長さんは五つに分れてゐる分區の常會をいまはりして来られたさうです。「多少出席のよくない所もありましたが、分區長さんも副分區長さんも、それに出席した各職員ともみな非常に熱心です。この分では今年中に立派なものが出来

上ります。私は各分區でそれぞれ挨拶をして来ましたが、聴く方はとても真剣です。目つきが今までとは違ひます。急がずにあせらずに、こつこつと基礎を築いて行けば、皇民奉公運動もすばらしい發展をとげるのではないかと思ひます。世話役の中には國語のわからない人がゐたり、又會など今まで一度も経験したことのない人が多く、それで分區を單位にして常會を開いてゐますが、これでは人数が少し多過ぎる様です。これから先は世話役の人選に氣をくばり、各奉公班を中心に、世話役の手で常會を開くやうにしたいと考へて

をります。」とのことでした。その言葉にはあふるばかりの熱がこもつてゐました。

國家の非常時です。今こそわれわれはふるひたつて臣道を實踐せねばならぬ大切なときです。下部組織をますますかため、役所から

情報部

皇民奉公會選定

常會の運営

常會の正しい運営、健全な發展を期するためにその理念を平易に説明した書。

臺灣時報發行所

臺灣總督府内

部報回覧板

燃上る志願兵熱

五千名を突破
首位は高雄州

本年六月實施決定をみた臺灣陸軍特別志願兵制度は、いよいよ明年より實施されることになりましたが、これまで度々報道されてゐるやうに、多年本島をあげて要望されてゐた本島人の總意によるものだけに、當時閣議を通過し、決定の快報がもたらされる

や、全島各地を通じて、本島福建族、廣東族、あるひは高砂族に至るまで、續々として志願採用方の志願書、血書志願書等は、臺灣軍司令部、憲兵隊又は各官廳あてに、連日殺到して、當局を感激させました。が、實施期日の昭和十七年度も、目途にせまりつゝある

お米に感謝を捧げませう

新嘗祭

十一月二十三日は新嘗祭でありませう。畏くも、天皇陛下に於かせられましては、御親ら宮中神嘉殿に於て、新穀の御初穂を天神地祇に神饌として供し給ひ、御親らもこれを賜召され、群臣にも御下賜あそばされる厳かな祭典であります。各神社でも新穀供進の祭儀が執行され、す食糧感謝、食糧消費規正、生活刷新、食糧増産活動の徹底等、このよき日を契機に、生活指導の實を擧げることに致しませう。

連峯の雲

歌御會始の勅題仰出さる

昭和十七年の新春を詠がせられて行はせられる宮中御恒例の歌御會始の御題は「連峯の雲」と勅定あらせられ、去る十月二十二日仰出されました。時艱突破の臨戦態勢下に斯くも雄大なる御題を拜し、關係官は聖慮の程に感激申上げてをります。

詠進は一人一首、料紙は美濃紙又は半紙の堅詠草五つ折りとし、定め書式によつて来る十二月十日までに宮内省御歌所に差出すことになつてをります。尙各戦線からの詠進以外は、異式の詠進は豫選歌の光榮に浴しないことになつてをります。

名、官公衛の六百三十二名、その他五百八十名となつてをります。

全體を通じて人口の比率からみて高砂族の志願者は高率を示してをります。尙

異彩を放つてゐるものに中國人及び平埔族の十一名があります。州別、種族別、年齢別、職業別の統計は次の通りであります。

一、年齢別

十九歳	一、三二〇
十八歳	九三四
二十歳	九二八
廿一歳	五七八

三、州應別、種族別

州應別	福建族	廣東族	高砂族	其他	計
臺北	一九四	五	七五	二七四	二七四
新竹	六〇	一八一	二一六	中國人	四五八
臺中	三三三	三三三	三		三六七
臺南	四三一	八	四一		四八〇
高雄	一、六三三	一、二七〇	二	平埔族	二、九一五
花蓮港	一一〇	一五九	一五三		四三二
臺東	一六	三	五六		七五
澎湖	四〇	一	一		四〇
總計	二、八二六	一、六五八	五四六		一、一五〇、四一

二、職業別

農業	二、九五三
商業	五三〇
官公衛	六三三
會社工場	三三六
學生	三〇
その他	五八〇
計	五、〇四一

模範部落決定

青潭、新街、菁寮三部落を正式指定

文教局では臨戦臺灣の農村の使命の重要性にかんがみ、隣保精神を基調とした日本の性格を持つ健全な農村部落の建設と、農村文化の創造を期するため臺北、臺中、臺南に指定すべき「基本指導部落」の候補部落として各州當局より推薦した

△臺北州 文山郡新店庄青潭部落、新莊郡新莊街建郷部落

△臺中州 北斗郡尾庄三張梨部落、南投郡名間庄新街部落

△臺南州 新營郡後壁庄菁寮部落

の五部落に就き、社會課に於て實地踏査の結果、最も指定要件に合致し、かつ今後の指導改善によつて模範部落として他の範たり得るものとして、青潭、新街、菁寮の三部落を基本指導部落として指定することに決定しました。

青潭部落 は蜿蜒二里もつゞく細長い山間部落で、茶業がその中心産業、耕地が少いため山地開發に

全力を注ぎ、階段畑によつて新しく増産計畫を樹て、食糧國策に邁進してをります。又家畜増産も積極的で、國語普及も相當進んでをり、一般に純朴で落着きがあります。

新街 は三部落のうち、全てが最も整備された部落で、耕地は悠々として、産米粟中の名に恥ぢず、良質の米が取れ、交通も四通八達、殊に衛生は躍進的に向上してゐます。

教化は今後に俟つべき處が多い様ですが、村全體としては落着きがあります。

菁寮 は約四百甲歩の部落で、看天田が多いため、

三年輪作が行はれてをり衛生もよく外形的に整備されてゐますが、内容的の教化は今後に俟つ處が多いのであります。

十一月二十五日は戸税、營業税、特別營業稅雜種稅の納期であります。早期完納に協力させう。

臺灣總督府情報部編纂
福建省産業交通圖
二〇〇
佛印泰國明細圖
二〇〇
臺灣時報發行所
模範圖三〇七〇番

盟邦の銃後戦線



人婦一リタイく働で場工需軍てし伍に性男

ツイド

働く婦人を大切に、砂糖なしの戦時料理

銃後の男子があらゆる部面にたつて職域奉公し、銃後の女性が或は男子の職域をうけつぎ、或は國家の子供を育て、或は家庭を守つて、國家第一の奉公に献身することは戦ふいづれの國でも同じことだ。

ドイツでは働く婦人を大切に、出来るだけの世話をする。例へば働く婦人が切實に不便を感ずるのは、買物その他の日常生活の小事だが、ドイツには約二百世帯を一組とする隣組があつて、この組長が指導して、家庭にある婦人たちが買物も共同して買つてやる。前日に希望の品を書いておけば、夕刻にはちやんと揃へて届けてくれる。また市場の近くにはナチ婦人指導者會(N.S.F.)があつて、その日の出廻りものと睨み合せて、献立も作れば、調理法まで教へ、特に油なし、砂糖なしといった戦時調理法を實演入りで傳授する。このN.S.F.の調理相談所はまた縫ひものから洗濯の仕方、法律萬般に亙る戦時生活相談所のやうなこともある。



獨逸國防軍直營の兵器工場食堂の團樂

遺児や働く母をもつ子供たちの爲めには、幼稚園や託児所が平時の二三倍に増加した。この子供たちの世話にはヒトラー少女團も一役買つて出る。

家庭の婦人はグルーブを作つて兵隊から送つてきた、シャツ、シーツ、靴下の共同洗濯や繕ひをしてサーヴィスする。休みの日には傷病兵を收容所に訪ね

一リタイ

組織化した銃後生活、旺盛な勤勞精神

て、一日を兵隊と共に歌を唄ひ、本を読み、素人演藝や碁將棋で兵隊を喜ばせる。慰問袋は袋ならぬボール箱につめ合せて、それもなるべく身寄の少ない兵隊のところへ澤山贈つてゐる。

イタリアもファシストのローマ進軍以來、殆ど戰時的生活を つゞけてきてゐるので、今次大戰になつたからといつて慌てる必要もない。勤勞奉仕も廢品回収も、兵隊慰問も、戦時生活の合理化も、統制の風も、銃後生活の萬事萬端が國家的にちやんと組織化されてゐるので、今更目新しい事はない。恥しい閑取引やみつともない買物行列のやうな醜態のないこともドイツと同じだ。

生活を困つてゐると云はれても國民自身は戦争のために満足しきつてゐるのだ。むしろ、今日のイタリア銃後で力を入れてゐるのは、戦開團全國聯合會の仕事で、之は主として遺族の不幸な生活を救済する國家献納も、金品に限らず、血液献納もイタリアが先鞭をつけた。その爲めに出血多量で、死ぬ筈の兵隊の命をどの位救つたか知れない。

皇民講座

第九講 志願兵

天皇陛下のおんためにはたらく道は、いくらでもある。われ／＼は、いろ／＼な仕事に従事してゐるが、だれでも、その仕事によつて、國のためにつくせば、それがすなはち、忠義となるのである。職域奉公といふのもそれであり、臣道實踐といふのも、そのことにほかならない。それゆゑ、農夫には農夫としての忠義があり、職人には職人としての忠義がある。ところが、その農夫なり職人なりが、兵役にくわんけいがあつて、召集されると、こんどは軍人としての忠義をつくす。これが日本男子たるものゝ本分である。

わが國の軍隊は、昔から 天皇陛下がちよくせつに御

統率(ごうそつ)あそばされるものとしまつてゐる。皇軍といふことばも、その意味をあらはすものであり、上官の命令は、すべて 天皇陛下の御命令と心得るといふこともまたその意味である。それゆゑ、すゝめも、つゝこめも、天皇陛下ちよくせつ御命令とこそころえ、いつでも 天皇陛下の御馬前にをるといふ心もちをもつてはたらくのが、軍人のたてまへである。

かういふ名譽ある軍人になることが出来る。それが、こんどの特別志願兵制度の實施である。來年から、本島の青年諸君は、名譽ある帝國軍人として、はたらかしてもらへる道がひらけたのである。これは、青年諸君にとつてはいふまでもなく、島民六百萬のかがやかしい名譽である。

今までは、朝鮮にこの制度があるのに、わが臺灣にないといふことは、どうしたことか、といふやうな聲がさうたうにあつた。いかにも、朝鮮よりすつと早くから、日本の領土になつてゐたわが臺灣が、朝鮮に先をこされたといふことは、さんねんなことであつた。しかし、今はもうりつぱにその目的をたつして朝鮮と同じやうにな

つてしまつた。いよくこれからである。これから朝鮮にまけないやうにぐわんばらなければならぬ。さうして、こんどは、内地と同じやうな兵役の制度が、一日も早く實施されるやうにとめなければならぬ。

毎日の新聞には、志願兵の志望者が、ぞく／＼と出てゐることが、報ぜられてゐる。中には、熱心のあまり血書して志願するものもあるやうだ。聞けば、このごろ、臺北訓練所の三百名の隊員は、全部志願のおもむきを、憲兵隊に申しでて、憲兵隊長をかんげきせしめたといふ。このごろの本島青年諸君の意氣は、まさに天をつくのおもむきがある。國家のために、まことにたのもしいかぎりである。

朝鮮は、第一回目の時の志願者が、三千人とかあつたといふ。本島の第一回目は、どのくらゐあるであらうか。三千や五千といはず、何萬とあつてほしい。いや、本島青年たるものは、一人のこらす志願する意氣ごみをもつてもらひたいものである。

事變以來、島民一ばんの自覺、とくに青年諸君の自覺はめざましいもので、それがいろ／＼な方面に、すばら

しい成績となつて、あらはれてゐると聞いてゐる。軍夫として従軍したもなどのほたらきも、じつにりつぱなもので、このごろ旭日章さへいたゞいた人もあるやうである。そのほか通譯や農業義勇團の人たちの活動、銃後の方では青年團や青年訓練所の成績、いづれもみなりつばなものであるといはれてゐる。そのもえあがる愛國の熱誠が、つひに當局をうごかして、こんど志願兵制度の實施を見るにいたつたものであらう。

臺灣は、これからますます發展する。今までは、日本の南のはしであつたものが、今では日本の中心になつたやうな感じがする。廣東へ、海南島へ、佛印へ、タイへ。船はこゝからいかりをあげ、飛行機はこゝから爆音をあげる。本島をかへりみないでは、南方發展も東亞共榮圈の確立もできない。したがつて本島の責任は、ますます重大になつて來た。この時、志願兵制度が實施される。まさに本島青年諸君の覺悟のほどを示すべき時であらう。

總督府編修官 中美 春治

比律賓の華僑

南洋第二課長 桑原拓殖 著
金子豊治

- 一、緒言
- 二、沿革
 - (イ) 古代
 - (ロ) 西領時代
 - (ハ) 米領時代
 - (ニ) 人的勢力
 - (イ) 一代華僑
 - (ロ) 僑生
 - 四、財的勢力
 - (イ) 經濟的地位
 - (ロ) 島内投資
 - (ハ) 本國送金及投資
 - 五、支那事變と華僑
 - (イ) 對日態度
 - (ロ) 抗敵會
 - (ハ) 日米兩商品價格の接近
 - (ニ) 現狀と對策

一、緒言

現在比律賓に居ります華僑は、或は十萬と云ひ、或は二十萬と云ひ、其の正確な數が判らないのであります。大體十六、七萬、即ち比律賓全人口の約一%と御承知を願へば、大差なからうかと存じます。尤も

此の數字は生來の支那人、即ち支那本國で生れた者だけを指すのでありまして、現地で生れた第二世とか、第三世とかの所謂累代華僑、又は混血兒の數を含んで居りません。若しかういふ所謂僑生、即ち現地生れの純支那人及混血兒を合計すると、百五十萬とか、二百萬とか云ふ大きな數に上るやうです。

や馬來に居住する夫々二百數十萬を始めとし、蘭印の百五十萬、佛印の五十萬、緬甸の二十萬、其の他比律賓や英領北ボルネオに居る者を合せ約七百萬乃至八百萬の多數に上り、南洋各地總人口約一億二千萬の略ぼ六%に當る譯です。そして此の割合から見ますと、比律賓の華僑は比律賓全人口一千六百萬の一%前後です。すから、必ずしも多數だとは、云はれない方でありま

二、沿革

イ、古代

扱南支那と比律賓は、地理的に見て割合に近距離に

在るので、兩者の間には既に千數百年前から交通が開けたやうであります。又七八百年前からの往復交渉に付いては、種々記録にも残つて居るやうであります。が、實際に於て支那人の定住者などが増加し出したのは、他の南洋地方と同様に、今から約三百年前、即ち明の末からであるやうです。

最初に比律賓へ渡航した支那人は、大體商賣が目的であり、主に米と生絹などを携つて行き、比律賓産の麻、眞珠、龜甲などと交換したやうです。續で渡來したのは、所謂移民階級で、彼等は農業に従事したり、一部は鑛山(主に砂金の採

取)にも働いたやうです。當時支那人の間には「若し富まんと欲せばサマール島に行くべし」と云ふことが言ひはやされたさうです。サマール島は中部比律賓に在る島ですがこれを見ても華僑の足跡が如何に偏く比律賓各地に及んで居つたかと判るのであります。

となつて來ましたので、西班牙人は彼等を嫉妬するやうになりました。會々福建省泉州出身の海賊林鳳がマニラを襲撃し、一時これを占領した事件(西歴一五七四年)が起り、それやこれやで西班牙人は華僑を仇敵視するやうになり、形勢甚だ不穩であつたので、支那、西班牙兩政府は、交渉の結果マニラ市の郊外に、パリアンと稱する一區劃を限り、ここに華僑を一團として居住せしめることにしたのであります。

活に、最も適合したものであります。華僑の居る所は都會は勿論のこと、小さな村に於ても此のパリアン式の集團が見受けられるのであります。

次に比律賓が西班牙の統治下に入つてから三百七十有餘年、此の間最初華僑は政府當局から信用を受け、専ら商賣に従事しました。が、彼等は低廉な生活と勞銀に甘んじ、且土民に較べ甚だ勤勉であり、而も其の經濟的勢力がやうやく旺盛

此のパリアンと申すのは「市場」の語意から轉じて「居留地」の制度を意味し、華僑の特異性たる集團的生

その後になりまして、福建方面から多數労働者が盛んに入り込み、賭博や飲酒に耽つたり、果ては公安上に及ばないかどはしい問題も頻りと起つたので、西班牙政府當局は、彼等に彈壓を加へることにになり、遂には數回に亘り大規模の虐殺事件もあつたやうです。之に對し華僑も所在相率ひて、各所に蜂起抗争し、叛亂を起させること亦數回に及んだやうです。

然し結局華僑は敗北し、而も益々壓迫と迫害を加へられるので、或は深山に逃避し、或は歸國する者など續出しましたが、やうやく西支條約（一八六三年）の妥結に依つて、比律賓に於ける華僑の自由貿易と最惠國待遇が認められるやうになり、此の結果彼等は自由に商賣が出来たのみならず、貿易取引や商工業の勞務關係などに於て、西班牙人の官憲などへ深く取入ることが出来、之に依つて漸次富を成し、經濟的にも又は社會的にも著々勢力を伸ばすやうになりました。

ハ、米領時代
越へて比律賓が米國領土

となるに及び、米國政府は米本國に於ける支那人排斥法を比律賓にも適用し、支那人の入國を禁止し、僅かに學生教師、一時渡航者及び商人に限り入國を許すこととしました。（茲に云ふ商人とは専ら資本主及經營主を指し、店員は労働者と見做されて、入國を許されないので。）但し法律上の立前はこの様に嚴重であるものの、裏には裏があるやうでもあり、又事實ボルネオ方面から島傳ひに、スルー列島やミンダナ島への出入が極めて容易且自由である爲め、此の方面からする華僑の密入國は、之亦逐年増加する許りであると云は

れ、之が取締も仲々に困難なやうでもあり、勞々多年來望望して居る支那側の顔も立て、やると云ふ見地などから、新に移民法を制定し、支那人移民の入國も可能ならしめるやうな案が、數年前から比律賓や米國政府の間に考慮されて居りました。さうして愈々此の案の蓋を明けて見ますと、國籍の如何に係らず、支那人であらうと日本人であるとを問はず、世界の諸國は一律に一千名だけの移民の入國を許してやらうと云ふのでありましたが、此の人数は多過ぎると云ふので五百名に削られ、昨年夏比律賓議會を通過し、續で米國大

統領の裁可を経て、本年一月一日から施行されることになりました。

此の移民法の制定に依りまして、一番得をした者は支那人であり、又一番損をした者は我々日本人であります。何となれば從來一人の移民の入國ですら許可されなかつた支那は、新移民法に依つて正々堂々と、五百人の移民を送り出すことが出来、之に反して從來何等入國上の制限を受けなかつた吾々日本人は、入國上の制限を受けるやうになり、而も其の入國数は僅に五百に限定されたからであります。華僑等が新移民法を歓迎する所以は、單に比

律賓への渡航の道が開けたと云ふのみではなく、只今申上げたやうな國際關係の機微な問題も含まれて居るからだとも思はれます。この點は御参考までにつけ加へました。

尙米領となつてからも、華僑は依然として比律賓の經濟界に重きを成し、特に一般飲食物其他日用品の取扱は殆ど一切を擧げて彼等の手に收め、又椰子、麻等の買付及び外人への賣り込みを始めとし、精米業、製材業、汽船、バス等に依る運送業、不動産仲立業、其の他一般商業に依つて幾百萬の富を作る者も出て参り、自然政界方面にも一層

の勢力を張るやうになつて來ました。

近來比律賓に於きまは、比律賓人の比律賓人など、云ふ所謂ナシヨナリズムの運動が盛になり、國富の回復とか利權の回收とか云ふ觀點から、外國人の經濟的勢力を減殺しよう、擁ぎ取らうと云ふやうな運動が市會とか州會、又は國會に法令案などの形式で頻々と提案され、このうち或るものは法規化されて著々と實施され、或るものは外交交渉に移されると云ふ具合であります。かういふ際に當りまして、特に經濟界の各方面に手廣く根を張り、枝を出して居る華僑の

事業と、其の活動は此の運動とよくぶつかりまして、結果から申せば華僑排斥と云ふことになり勝ちなので、但し最早今日に於て、比律賓の一般政治家は、華僑の有する地位、即ち社會上、經濟上乃至政治上に占めて居る現勢力を無視して、眞向から彼等を排斥せんとすることは到底不可能であり、又左様のことには有り得ないと思はれるのであります。

三、人的勢力

イ、一代華僑
扱前にも申し上げた通り、華僑は殆ど比律賓の全土に亘つて足跡を印し、マニラ、セブ、バギオ、イロイロ、サンボアンガ、ダバオ等の都市は申すまでもなく地方の小さい町村に於ても、屹度彼等は數軒乃至十數軒、又は數十軒位づゝかたまつて、即ちバリアン式の集團的住居を營んで居ります。

又比律賓人の友人などから紹介されて、タンとか、リムとか、ヤンとか、又はラクソンとか、リチヤンコなど、稱する比律賓人に會つて見ますと、これはまた面貌、容姿、果ては音聲まで支那人にそっくりな方なのです。これは華僑の第二世とか、第三世とかいふ者か、又は支那人と混血の

比律賓人即ち所謂僑生でありまして、かう云ふ支那系比律賓人は地方的に仲々勢力があり、特に市會とか、國會、又は商業會議所などの議員として羽振りが善く、地方地方に於て、社会的にも經濟的にも、又は政治的にも重きをなして居り、現に國會議員の過半数は是等の僑生に依つて、占められて居ると云ふことで

す。尙生來の支那人でありながら、比律賓人の名前を探る者も尠くありませんが、特に商人の間では比律賓人——即ち比律賓で出生した者として、鑑札などを受け、且比律賓人として行動して

居るものも相當あるやうです。又比律賓生れの支那人は、好んで基督教の洗禮を受け、基督教名を探り、且名付親の名を付けて、比律賓人と稱する者も甚だ多いのでありまして、結局比律賓に居る支那人の正確な數字は、前述の通り彼等の本國に於ける人口と同様全く見當がつかぬと申す外はいやうです。

現地生れの支那人は大部分比律賓人化し、且比律賓に歸化するのであります。が、彼等は支那本國の事情に殆んど通ぜず、且本國の問題等には案外無關心である爲め、所謂華僑の間には勢力もなければ幅も利かな

いのです。矢張り華僑間の有力者としては、大部分(約八割五分に當る)福建出身の所謂一代華僑でありまして、現にマニラ方面に於て、中華商會其他實業團體などの首腦部である李清泉、楊啓泰などは、何れも幼少の頃比律賓へ渡り、文字通り粒々辛苦、營々努力の結果、今日克く巨萬の富を成し、併せて社会的にも經濟的にも將又政治的にも牢固不拔の勢力を築き上げたのであります。要之、眞に華僑としての活動は一代華僑に限るやうであり、其の眞價も亦一代華僑に見られるやうであります。

次に混血種であります。これは前にも申した通り、兩國間の交通が可なり古い時代から開けただけ、夫だけかういふ種類の出生兒は多數且廣汎に亘つて居ると認められます。由來比律賓人は華僑を尊敬して居る譯ではありませんが、華僑男子の働き振や、道德觀念が比律賓男子に優るものがある爲め、比律賓女子は華僑に嫁ぐことを好む風習があり、一方華僑としても、比律賓女子と結婚する方が費用も少なく、手續も簡單であり、且之に依つて比律賓人と接近し易く、商賣上其他に於て便利が多い爲めに、彼等も好んで比律賓婦

女と結婚すると云ふ有様です。そして又その間に設けられた所謂混血兒(男をミスターン、女をミスチーサと稱す)は、少くとも比律賓人よりは優秀な者と認められ、事實優秀な者が多いので、混血兒たることを一種の誇りとして居る譯なのです。現にマニラに於ける上流階級は、多かれ少かれ、總て其の先祖に支那人の血が通つて居ると云はれ、又極めて知名の士で華僑の子孫に當る者も尠くないのであります。茲には之を省きます。

尙種々な文献や統計に依つて、総合しますると、此の混血兒の概数は、大體比

律賓全人口の二割乃至一割五分と推定することが出来るやうであります。

四、財的勢力

1、經濟的地位

華僑の經濟上の地位は、夙に西班牙領時代から著々確保されたが、米領になつてからは國內の政情、人心など一層安定した結果、新しい産業や事業も續々勃興し、又アメリカや東洋隣國との貿易も益々盛んとなるに連れ、是等の産業や貿易と直接間接、何等かの關係を持つ華僑の地位及び勢力は、愈々鞏り愈々堅固となつて來た。

近年の統計に依りまする

と、比律賓小賣商業の概ね七割迄は華僑の手に在り、又卸賣の大部分も彼等が支配して居る。事實町場や都會に於てはサリサリ店と云ふ支那人の小賣店——小間物、雜貨、水ものなどを一所に小賣する小さい店——が到る所の辻々に在りまして、専ら中流以下の比律賓人などを得意先として居る。又少し大きな且氣の利いた店になりますと、殆ど有らゆる商品——雜貨類は勿論一切の食料品を備へ、場所又は土地柄に依つては呉服反物類なども併せて小賣し、又は卸賣する店も澤山に見受けられるのである。

又華僑は歐米商人と比律

賓人との間に仲介者となつて居ります。即ち華僑は比律賓の特産物である麻、コブラ、烟草、砂糖などを物々交換や、買入又は信用貸しの方法で小さな生産者から仕入れ、之を相當程度の數量に纏めて、仲買人又は外國人の輸出商館に賣る。彼等は、生産者からは格安に買入れ、外國人筋へは割高に賣つて所謂一舉兩得の利潤を收めて居る。尙華僑の中には、前に申し上げた特産物の外、綢具、帽子、刺繡等の製造業や精米業、製材所、運送業、雜貨製造等を自から經營し、又は之に投資して何れも相當多額の利益を收めて居る者も相

常見受けられる。之を要するに華僑は田舎に於ては労働者であり、小店主であり、卸賣商であり仲買人であり、また村夫子でもある。貿易港に於ては更に貿易商であり、沿岸汽船の船主でもあり、尙都會に於ては更に大きな貿易商であり、實業家であり、又政治家でもあるのである。

口、島内投資

今華僑の比律賓内に於ける投資振を檢討して見まするに、適確な數字を擧げることは困難であるが、西曆一九三五年版の比律賓ヘラルド社發行の比律賓年鑑に依りますと、彼等の全投資額は米貨弗にして約一億

九百萬弗で、比律賓全體の各國人投資高の約七、五%に當つて居る。其の内譯左の通り。

不動産投資 二七、六〇七
銀行投資 三、九六三
製造工業投資 一四、九八八
商業投資 五〇、〇〇一
農業投資 六三
鑛業投資 一三六
林業投資 五、三五八
其他投資 七、〇二〇
合計 一〇九、一三六

此の内商業投資は各國人の商業投資高の約六〇%に當り、斷然第一位を占めて居り、之に亞ぐ投資としては不動産と製造工業に對する分とがあります。之を

比律賓全體の分と比べれば、夫々七%及び一〇%内外を受持つに過ぎません。今商業投資に付て先づ之を各地方別に見ますると、次表の通り、矢張りマニラに於ける分は第一位を占めて二千萬比、即ち一千萬弗

以上上つて居る。次に華僑を中心として見た主なる地方別比律賓人及支那人の商業投資高表を掲ぐ(昭和十四年三月末調。金額の單位は千比とす。一比は半弗にして目下邦貨二圓十三錢餘に當る。)

州別	比律賓人	支那人
マニラ	一六、七八〇	二〇、七二〇
イロイロ	六、一〇四	一五、七四二
ヌエバエミハ	五、四八〇	一五、六〇四
セバ	七、四一六	一一、〇六四
イサベラ	五、〇〇〇	七、〇〇〇
ダバオ	六〇〇	五、〇〇〇
ラグーナ	三、〇〇〇	四、〇〇〇
パンガシナン	一、三三六	二、七三六
西ネグロス	三、一五三	二、六六七
コタバト	二〇〇	二、〇〇〇

此の外の地方は華商の投資百萬比以下なるに付之を省略する。

尙商業投資に關聯し、華僑が最も得意とする商賣であり、且堅固な地盤を持つて居る小賣業について、申通りである。

一、小雜貨店(サリサリ店)

國籍	店數	投資額(千比)	取扱高(千比)
支那人	六、六八一	一七、三二七	三五、八三〇
比律賓人	六〇、八一	二二、一五三	二二、六九〇
日本人	一七四	八九四	一、五一四
米國人	一九	三九	一五一
西班牙人	一八	二八	五六
印度人	一八	三一	二七
其他	七	四二	一六
計	六七、七二八	四〇、五一四	六〇、二八四

二、食料品店

國籍	店數	投資額(千比)	取扱高(千比)
支那人	八六七	七、三三〇	二二、一〇九
比律賓人	二、七九六	一、五七三	四、六八八

上げますと、西曆一九三九年即ち一昨年の國勢調査に依れば一九三八年十二月末現在に於けるサリサリ店(小雜貨店)及食料品店の店數、投資額及取扱高は左の通りである。

州別	店數	投資額(千比)	取扱高(千比)
アルバイ			二、三四三
タララック			二、一四九
東ミサミス			九六七
タヤパス			一、〇四〇
ソルソゴン			三〇〇
レイテ			二、四一六
リサール			二、五八四
イロコス			七三四
ブラカン			四、〇八二
日本人	二〇		三七五
西班牙人	二四		一一一
米國人	五		二二
其他	二		一〇
合計	三、七二四		九、四二一

右表中には、乾物店、パザール店、百貨店、魚及卵販賣店、菓子店等の小賣店は含まれて居らぬ。然し此の表に依つて比律賓に於ける小賣業が、如何なる國民に分

布され、又、支配されて居るかハッキリ分るのである。即ち華僑經營のサリサリ店及食料品店は、比律賓人經營の六三、六〇七件に對し、僅か七、五四八件の

少數に拘はらず、比律賓人取扱高二千七百三十七萬八千餘比、即ち總取扱高の三%に對し、華僑の取扱高は五千七百九十三萬九千餘比で、總取扱高の六六%を占めて、壓倒的の勢力を有し、其の他の外國人は合計僅に二百五十三萬五千比で、總取扱高の三%弱に當るに過ぎない。これを以てしても如何に華僑が商業方面——特に小賣業方面に發展しつゝあるかを判る譯であります。

尤も今より約十年前の、統計などに據りますと、比律賓の商業のうち卸賣商の六〇%、小賣商の七五%までは華僑の手に依つて取

扱はれ居たのですが、近年は夫々一〇%乃至一五%を減じたやうであります。その原因は勿論比律賓人が此の方面の商賣に多數入り込んで来たことにも因りますが、一方日本人の勢力が倍加して来たことも見逃がすことは出来ません。特に滿洲事變以來ポイコットをやつて居る支那人に代つて、日本人は自から販路を開拓し、得意を増加することに著々成功して居ります。マ

ニラ註在の支那總領事は「今後十年の間に、日本人は比律賓の小賣業を支配するであらう」と言明したことがあるが、何れにせよ、比律賓に於ける華僑の商勢

——商業上の地位勢力は、幾分づゝ漸次に減退を免れない情勢に在るものと思はれます。

ハ、本國送金及投資

紙面の都合もありますので、次に簡単に華僑の本國への送金と其の投資振について申上げます。

華僑の本國への送金額などを調べることは、随分困難であり、且到底精確な數字は得られないやうです。又その額に付きまして、

元前後と認められ、之を泰國華僑の送金高二千萬元、乃至三千萬元、英領馬來の一千五百萬元乃至三千萬元、蘭印地方の二千萬元乃至三千萬元に較べますると比律賓の方は華僑の數に比例し著しく多額であります。尤も十數年前には時に年額二千萬元近くの送金もあつたやうであるが、其後減つたり殖えたりし、事變發生後はすつと減額して居る筈です。

次に本國に於ける投資ですが、之は比律賓華僑の主なる出身地である廈門泉州其他福建省内に於ける投資額は相當の額に上つて居ると云はれて居ります。即

五、事變を繞る動き

イ、華僑の對日態度

今次事變の勃發當初に於ける比律賓華僑の對日態度は、往年の濟南事件や滿洲事變當時の對日ポイコット、日貨排斥の失敗に燃りた爲めか、極めて消極的且微温的のものでありました。然し皇軍戰果の擴大に伴ひ、翌年三月初め頃からやうやく組織的な排日貨の實行に移りましたが、其後幾多の迂余曲折を経て、最近に於ては排日貨に依つて生ずる損失に堪へ得ない者や、國際情勢に目覺める者も出て参りました。彼等の

團結も弱體化し、日貨の取引開始は勿論、進んで日本人と提携しようとする者も少しづつ現はれて来て居ります。

今右の經過を概略申上げますと、事變發生當時マニラ方面の支那新聞は、一部の英字新聞と共に盛んに煽動的記事や戦捷の虚報を掲げて、華僑らの國民的意識の鼓吹に力めました。其の濟南事件や滿洲事變に依つて經驗した窮境を繰り返すことの愚を熟知して居る一般華商は、排日貨に關する國民政府の指令や不逞分子の脅迫等に耳を藉すことなく、冷靜な態度を執つて居りました。勿論彼等の

胸中にも烈々たる愛國の念はあり、戦區の擴大と共に軍費分擔に依る祖國防衛論は相當強く彼等の輿論を支配するやうになり、獻金熱も著しく昂まり、最初の國民政府公債一千五百萬元の割當に對し、金物商の巨頭楊啓泰は率先して二十萬元を引受けて抗日救國の範を示しましたが、さりとて濫りに排日貨の輿論には與せなかつたのである。

ロ、抗敵會

然る處抗敵會長曾廷泉と云ふ者が現はれ、第三次仇貨排斥を實行に移さうと猛運動を起しましたが、會々來遊した財政部長孔祥熙の聲明に依つて、華商は其

ち廈門に付ては民間建物の價格約一千五百萬元中、華僑の投資額は六割乃至七割を占め、外に華僑の所有に係る不動産約一千六百萬に達すると云はれる。又別に比律賓の華僑は廈門興業公司經營の不動産に對し五十萬元、同地の某軍事施設に十萬元を出して居ると云はれる。尙泉州方面には閩南自動車會社其他製作工場數件あり、此の種事業に對する華僑の出資は約五百萬元に達して居る。又教育及慈善事業に對する華僑の貢獻——經費其他の出費高は毎年相當の多額に上つて居る由である。

も出て参りました。彼等の

も出て参りました。彼等の

の進むべき道を示され、同時に排日貨の氣勢は一頓座を來しました。即ち孔祥熙は其の聲明に於て『將來戦争が長引けば經濟は軍事よりも重し』と述べ、華僑に依る經濟的援助の重要性を強調して、有害無益な排日貨運動を見合せ、一層獻金に向つて力を注がせることとなり、こゝに軍事獻納運動は更に拍車を掛け、延びては支那人一流の強制獻金の勵行ともなりました。然るに翌十三年一月下旬曾廷泉は、中支那に於ける支那軍大敗の報に依る人心を巧みに握つて、愈々排日貨の活動舞臺へ登場するに至り、一般邦人の樂觀的觀測

は完全に裏切られ、又華僑が好むと好まざるに拘らず、華商に依る日貨排斥は不可避となりました。即ち二月二十六日の國防獻金に關する打合せが將に散會せんとする間際に於て、突如として抗敵會の急進分子は排日貨即時斷行の動議を提出し、獻金主義の軟論自重派に對し、此の動議が容れられなければ卿等を犠牲にするも敢て辭せずと脅迫した。此の動議は勿論抗敵會々長曾廷泉の指金に依つたものであつて、議場は一種異様の氣勢に押され、一人の反對者もなく萬事抗敵會の思ふ儘に掛り、愈々二月二十八日を期して、比

律賓一齊に排日貨即時斷行と云ふことになりました。そして抗敵會は二十八日早朝傳令を全比律賓に飛ばして、即時排日貨斷行を命令し、又糾察隊と云ふのが主な都市や港で監視網を張り、違反者の摘發を陸始した。尤も華商の間にはかやうな抗敵會の專斷的排日貨強行に對し、内面的に不平を有つ者も尠くはなく、只正面から反對の態度を執らないままであり、一方自衛手段として所謂内所買をするとか、又は國防獻金を増額して日貨の買入を默認せしめるとか、其他種々の方法で秘密裡に日貨の取引を続けました。

ハ、日米商品の價格接近 然るに同年二月末から三月の末にかけて、日米商品の價格が接近して來たので、排日貨運動は益々深刻化するに至つた。と云ふのは從來アメリカ製品は日本品よりずつと高價なものであつたのであるが、近年米國では特に東洋方面向の格安品を生産するやうにしたり、又は外國向輸出品に補助金を與へたりするが、之に反して日本品は生産費昂騰に因る價格騰貴の爲め、兩國製品の價格は殆ど似たり寄つたりとなりましたので、日米兩商品の何れを取扱つても利潤の程度には殆ど差がないと云ふことにな

り、これにつけ込んで抗敵會の連中は愈々熾烈に排日貨を鼓吹しました。

三月下旬、在マニラ支那總領事官が急遽歸國して、支那政府と打合せを了して歸還してからは、從來獨立の體系を取つて居つた所謂抗敵會が、中華總商會の統制下に置かれ、且曩の上海事件當時國防獻金の使ひ途に付て古傷を持つ曾廷泉の如き不良分子は排斥され、總て總領事の指揮に依つて行動すべしと云ふ立前を取り、排日貨運動は秩序的に整備されるやうになりました。續で徐州の陥落や廈門の攻略となり、特に廈門の陥落は在比華僑の八割迄が

廈門を出身地とするか、又はそこを經由して來た爲め、彼等の故郷に對する思慕の念は報復の感と相俟つて、猛然日貨排斥へ突入すべしとの覺悟を更に更に新にした。然し乍ら實際に於ては日本品の取引が全く根絶したと云ふ譯ではなく、華商のうちには監視人の眼を憚んで日貨の取扱を繼續し、殊に代替品のない日貨に付ては、密かに多量の注文を發してゐる向も尠くないやうであつた。

前途に見切りをつけて、自暴自棄に陥つたり、又は公開の席上、排日貨運動の停止方を提唱する向も出て參り、抗敵會の活動も稍々下火とはなりましたが、猶抗日運動を喰物とする一部テロ團などの暴力を恐れて、公然と日本人商社方面へ接近する者は殆ど見受けられなかつたのです。

二、現状と對策 越えて歐洲大戰勃發し皇軍の佛印進駐を見、又日獨伊三國同盟の成立となり、更に獨蘇開戦等眞に目まぐるしき國際關係の激變下に在つて、一體比律賓の華僑諸君は何を考へ何を爲しつゝあるかと申しまするに、

由來流言飛語に附和雷同し易き華僑大衆は、何はさて置き最近の日米國交關係を繞つておち／＼仕事も手につかぬと云ふ状態であるやうです。その主な現はれとも見られるのは、

(一) 中華總商會長薛芬士の再任 マニラの中華總商會首席に薛芬士の留任方を全島一致で決議したが、薛氏は之を固辭したので、各方面及び各僑界團體から、或は手紙に依り、或は代表者を派し、華僑興亡の大危機に直而して居る此の際、貴業の如き人物に非ざれば、僑界の救済は出來ないから、非常時首席として今一度出馬

して戴き度い云々」と嘆願し、やうやく去る二月末就任方を承知したが、蔣芬士は嘗つて華僑商業復興委員會大會席上で「華僑は華僑本来の使命に立ち歸へるべきで濫に政事軍事にのみ狂奔すべきものでない云々」と力説したことがあり、同氏の意見に對しては今尙共鳴者が多いのである。

(二) 排日貨運動減退
抗日思想が衰頹したことは、やがて排日貨運動にも影響し、最近に於ては童子軍監視隊等の横行跋扈は殆んど姿を没し、又正義團、鐵血團などの暴力團も日貨を取引する現状を目撃しても、何かしらの贈賄をすれ

ば、見て見ぬ振をする云ふ有様であり、抗日排日などに頭を悩ますよりは、先づ以て自分等の身の振り方を考へねばならぬと云ふ現狀である。

(三) 資金回収
華商は從來の掛賣りを止めて現金賣となり、今迄の掛賣回収に汲々として居り、又手持商品は投資してまでも現金に換えんとあせつて居る。而も右から左へと賣れるものは別として、可成仕入を手控へて居るから、華商の店先は目立つて品不足となつて来た。斯うして回収した金は、銀行などへ預金することはなく、大部分は現金で持つて居る

らしいのである。

以上のやうな有様で、一般華僑の景氣は沈滞し、彼等の顔面には憂色が現はれ居り、且可成日本の感情を刺戟することを避け度いと力めて居るやうでもある。尙國民黨比律賓支部なども、秘密裡に全體會議などを開いて、日米關係を繞る華僑の立場などに付慎重討論を重ねた模様でありま

す。要之、凡て物事を現實的に且大袈裟に考へる癖のある華僑は、四年越しとなつた日支問題も然ることながら、今は現實的に自分達の居る比律賓に關係のある日米國交が最悪に立ち至つた場合を假想して、彼等は

色々と取越苦勞をして、精神的にも大きな恐怖と不安を感じ居り、結局此の窮境を脱する方法は日本に信頼し、東亞共榮團の建設に参加するより外なしとの考へが日増し、濃厚になりつゝあるやうであります。之は單に比律賓華僑のみではなく、恐らく南洋華僑全部が内心之と感を同じうして居ることゝ存ぜられます。

昭和十六年十一月十五日印刷發行
編輯者 臺灣總督府情報部
發行所 臺北中區二丁目十五番地
印刷所 加藤・豐吉
臺北中區二丁目四三番地
印刷所 小塚本店印刷工場
臺灣總督府情報部
振替臺灣二〇七〇番

臺灣總督府情報部編纂

改訂新版發行

臺灣讀本

四六判百五十頁
圖版多數挿入

南進基地としてその重要性を加へて來た臺灣の全貌を、興味深く平易に説いた案内書 (定價一圓)

臺灣總督府内

發賣所 臺灣時報發行所

振替臺灣二〇七〇番

目要業營

- 一、日本銀行引受國債賣捌取扱
- 二、公社債の引受募集並ニ賣買
- 三、株式の引受募集並ニ賣買
- 四、公社債元利金支拂株式配當金取扱代理事務
- 五、融業務

本店 大阪市東區安土町二丁目

野村證券株式會社

臺北支店 臺北市表町二丁目

電話四〇〇一四一五九四五三〇七三五七

振替貯金口座番號九一〇一番

支店 東京・名古屋・京都・神戸・岡山

支店 廣島・高松・門司・福岡・金澤

支店 新潟・靜岡・札幌・京城

滿州野村證券株式會社

本店 奉天・支店 新京・大連

昭和十二年九月二十五日三國銀行認可
昭和十六年十二月十五日出發行
(每月二回一日、十五日發行) (第一三四號)